

さあ 征けつ 新選組よ

劇団つんぼさじき

観客論だ民衆論だとか喚きつつ関係の絶対性への虚想な思い込みへ全く呆れるほど無節操に首を傾げ出血多量の無惨な蒼白き肉体と批評水準にも飛躍しえない言葉とを現象の巷に蔓らせる、その実は現実の時間の加速度にはや閃絶と悲愴の形相をちびる無能ぶりをいかに発揮しているいかなる集団の走愚も、最早、私らの視野に於て歴然とした敵以外の何物でもありはしない。現実原則の中で磨滅した己れの感性を糞とも知らず大事そうに些か持て余し気味に得意然とした奴らの横顔の不潔さと愚劣さを見よ。闇小路の真只中で呆然佇立したまま立小便もできぬ己れの肉体の恥をも知らず、毒にも屁にもならぬ化粧を施した肉体と言葉とを早漏気味に発射するのは決して窮地極まった演劇モダニスト末裔らの醜悪かつ滑稽な常套手段だった事を忘れるな。アングラ（唐十郎の居直りを見よ）だとか小劇場運動（68/71一派のブルジョア趣味を知れ）とか演劇戦線（関口瑛らとの無節操なあまちゃん繋がりを整風せよ）とかいう脱糞処理場の野辺で奴らと欺瞞心中する馬鹿がいったいどこにあるものか。騙されると死ぬぞ!!

巷の猥雑な演劇スモッグの発生源こそ奴ら自身に外ならぬ。混乱から滅亡へと確実に向っている70年白痴時代の罫を潜り抜け全き夢の全体性・戦場へと真に疾走するには、累々と持続の時間構築に妄執する演劇モダニスト末裔らを瞬時のうちに殺戮すべく私らは、狂気の無銘刀群たるしかありはしない。

それにしても、無名の演劇を志す演劇二等兵と自らを自己規定する近くてあまりにも遠い私の唯一の同志、お山の小天狗流山児祥よ、命名性から遠く離れて遍在する無名空間の獲得（何だ、この言い様の雑さは）へと向う私らの肉体とは、駄目な先行者たちのひとりと流山児が絡印する唐十郎の突出した肉体を十把一絡げに日常の機能性ないし無機能性の極北へと押し込めてしまう事ではないぞ。昔孝行には糞味噌に饒舌な流山児もいざ舞台となると鈴木忠志や佐藤信には頭が上らんのか予定調和の全体性へと変節してしまうとは情けない。ハンドスピーカー世代の残滓である流山児や私が性急に口走った夢の戦場はおろか、それでは演劇の武装は可能かという白々しい序論の罫に寝首を搔かれたただけだ。幻の民衆なるものをでっちあげる事は得意でも流山児には現在あるのっぺらぼうの観客が全然見えぬらしい。現在ある観客への期待が過度なだけならまだ救われもするが。

さあ、征けつ、夢のテロリスト青春群像・新選組よ!! 再度、昭和維新とかいう愚かな歴史に憑かれた演劇モダニストらを白痴時代の油小路で闊討ちせよ、幻の日本列島四条河原町の獄門台に奴らを血祭りにあげよ!!

